

## 県南地区振興局見直しの方向性に関するアンケート調査結果

### ●調査の目的:

市町村合併等を背景に、県は平成20年3月に「長崎県地方機関再編の基本方針」を策定し、本土地区を県北・県南の2地区に区分し、総合地方機関を設置することとしている。

県南地区(長崎・県央・島原の各振興局の所管区域)を集約するための庁舎建設地にも目処が立ち、基本方針に沿った見直しを実施する環境が整ったが、振興局は、地域において県の事業・施策を実施する組織であるため、その見直しについては、各地域関係者(市町・議会・県民の皆様)のご意見を参考に理解を得ながら進める必要があることから、アンケート調査を行うもの。

●調査期間: 令和2年12月22日(火)～令和3年1月8日(金)

●調査対象: ながさきWEB 県政アンケートモニター(338名)

●回答状況: 304名(回答率89.9%)

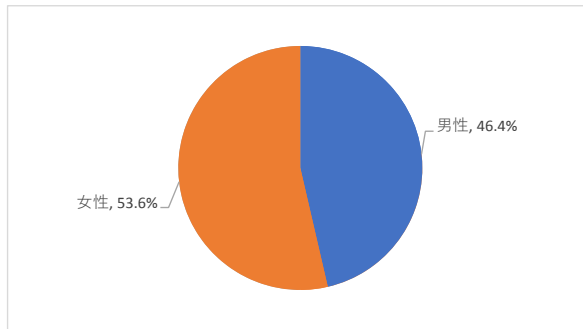
●調査担当課: 総務部 新行政推進室

※小数点以下第1位を四捨五入しているため、100%にならない場合があります。

### <回答者の属性>

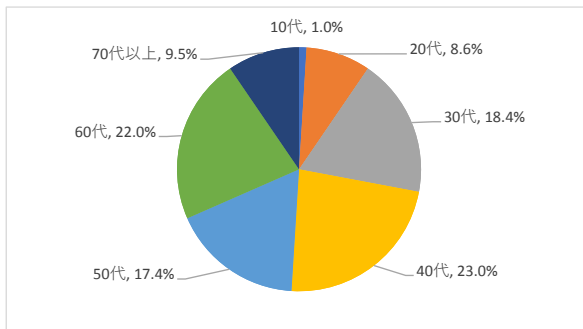
#### ○男女別

|    | 人数  | 構成比(%) |
|----|-----|--------|
| 男性 | 141 | 46.4%  |
| 女性 | 163 | 53.6%  |
| 計  | 304 | 100.0% |



#### ○年代別

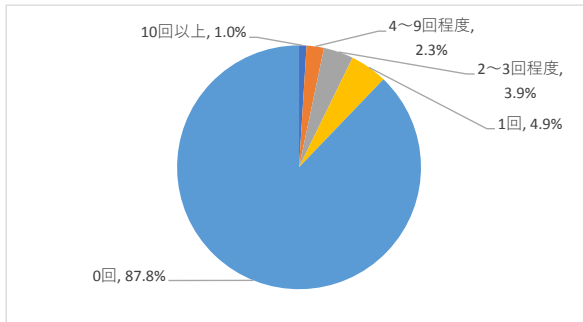
|       | 人数  | 構成比(%) |
|-------|-----|--------|
| 10代   | 3   | 1.0%   |
| 20代   | 26  | 8.6%   |
| 30代   | 56  | 18.4%  |
| 40代   | 70  | 23.0%  |
| 50代   | 53  | 17.4%  |
| 60代   | 67  | 22.0%  |
| 70代以上 | 29  | 9.5%   |
| 計     | 304 | 100.0% |



### <アンケート結果>

質問1. あなたが、令和2年の1年間で振興局に行った回数をお答えください。

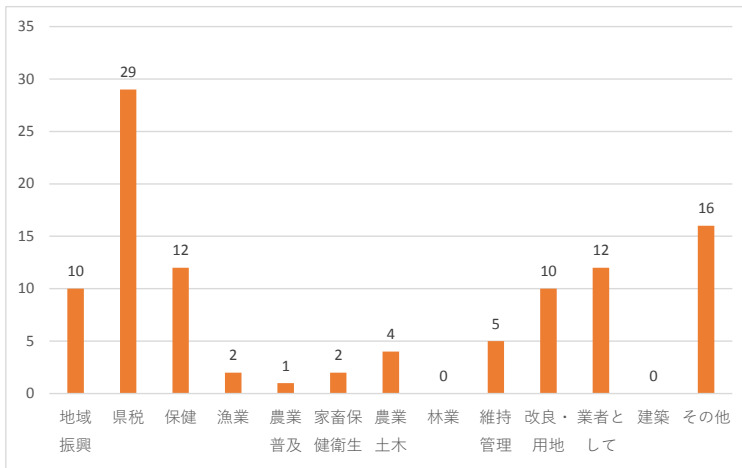
| 選択肢    | 回答数(人) | 構成比(%) |
|--------|--------|--------|
| 10回以上  | 3      | 1.0%   |
| 4～9回程度 | 7      | 2.3%   |
| 2～3回程度 | 12     | 3.9%   |
| 1回     | 15     | 4.9%   |
| 0回     | 267    | 87.8%  |
| 計      | 304    | 100.0% |



質問2. 質問1で①～④に回答した方にお尋ねします。

あなたが振興局に行ったのはどのような用事ですか。(複数回答可)

| 選択肢    | 回答数(人) | 構成比(%) |
|--------|--------|--------|
| 地域振興   | 10     | 9.7%   |
| 県税     | 29     | 28.2%  |
| 保健     | 12     | 11.7%  |
| 漁業     | 2      | 1.9%   |
| 農業普及   | 1      | 1.0%   |
| 家畜保健衛生 | 2      | 1.9%   |
| 農業土木   | 4      | 3.9%   |
| 林業     | 0      | 0.0%   |
| 維持管理   | 5      | 4.9%   |
| 改良・用地  | 10     | 9.7%   |
| 業者として  | 12     | 11.7%  |
| 建築     | 0      | 0.0%   |
| その他    | 16     | 15.5%  |
| 計      | 103    | 100.0% |



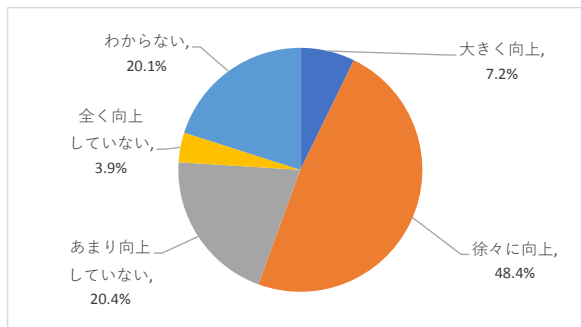
○その他の主なもの

・ロビーの情報誌やチラシの収集 ・建設業許可の更新等 ・国勢調査関係 など

※回答対象者37人

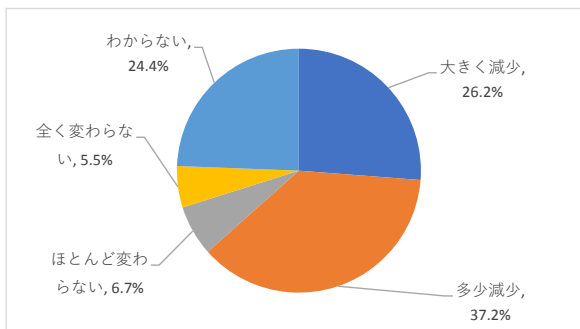
質問3. あなたは行政分野でのICT技術による利便性の向上についてどのように感じますか。

| 選択肢        | 回答数(人) | 構成比(%) |
|------------|--------|--------|
| 大きく向上      | 22     | 7.2%   |
| 徐々に向上      | 147    | 48.4%  |
| あまり向上していない | 62     | 20.4%  |
| 全く向上していない  | 12     | 3.9%   |
| わからない      | 61     | 20.1%  |
| 計          | 304    | 100.0% |



質問4. ICT技術による利便性が向上すれば、用事のために振興局に行く回数はどうなると思いますか。

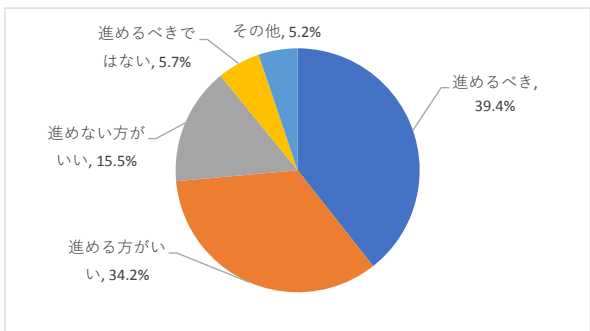
| 選択肢       | 回答数(人) | 構成比(%) |
|-----------|--------|--------|
| 大きく減少     | 43     | 26.2%  |
| 多少減少      | 61     | 37.2%  |
| ほとんど変わらない | 11     | 6.7%   |
| 全く変わらない   | 9      | 5.5%   |
| わからない     | 40     | 24.4%  |
| 計         | 164    | 100.0% |
| 未回答       | 140    | —      |



※以下の質問5から質問8は、長崎市、諫早市、大村市、島原市、雲仙市、南島原市、時津町、長与町にお住まいの方にお尋ねします。

**質問5. 振興局の集約の方針についてあなたはどのように考えますか。**

| 選択肢       | 回答数(人) | 構成比(%) |
|-----------|--------|--------|
| 進めるべき     | 76     | 39.4%  |
| 進める方がいい   | 66     | 34.2%  |
| 進めない方がいい  | 30     | 15.5%  |
| 進めるべきではない | 11     | 5.7%   |
| その他       | 10     | 5.2%   |
| 計         | 193    | 100.0% |
| 未回答       | 2      | —      |



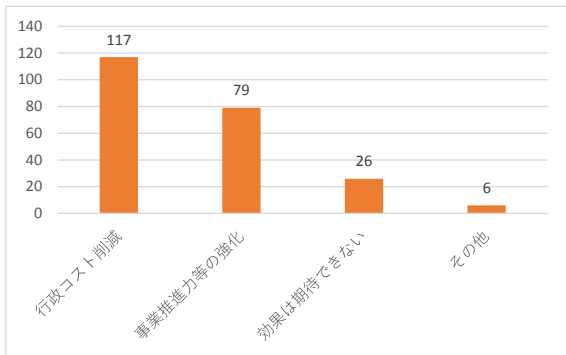
○その他の主なもの

- ・島原半島は農林業が盛んで関連部署が必要。残す部署と合併する部署について検討を。
- ・税務窓口など残るため、日常生活に支障があるようには見えないため、進めてほしい。
- ・集約に伴う代替措置についてもっと検討を(移動の困難さ、ICT化への対応の困難さなどの克服)。など

※回答対象者195人

**質問6. 振興局の集約についてあなたはどのようなことに期待しますか。(複数回答可)**

| 選択肢       | 回答数(人) | 構成比(%) |
|-----------|--------|--------|
| 行政コスト削減   | 117    | 51.3%  |
| 事業推進力等の強化 | 79     | 34.6%  |
| 効果は期待できない | 26     | 11.4%  |
| その他       | 6      | 2.6%   |
| 計         | 228    | 100.0% |



○その他の主なもの

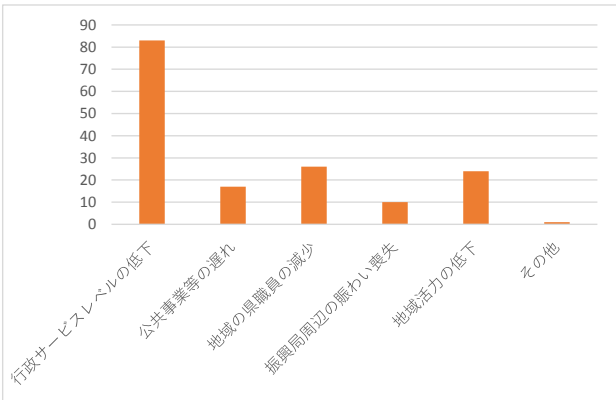
- ・頻繁な移動が少なくなり、より専門知識の蓄積が期待できる。
- ・コストは減っても利便性が損なわれるのであれば問題。
- ・過疎化が進む地域は高齢化も進み、ICTに対応できない高齢者にとっては公的機関がなくなることが大きな痛手になる。など

※回答対象者195人

**質問7. 質問5で②、③、④(デメリットはある)を選択した方にお尋ねします。**

**振興局集約のデメリットとは、どのようなことですか。(複数回答可)**

| 選択肢          | 回答数(人) | 構成比(%) |
|--------------|--------|--------|
| 行政サービスレベルの低下 | 83     | 51.6%  |
| 公共事業等の遅れ     | 17     | 10.6%  |
| 地域の県職員の減少    | 26     | 16.1%  |
| 振興局周辺の賑わい喪失  | 10     | 6.2%   |
| 地域活力の低下      | 24     | 14.9%  |
| その他          | 1      | 0.6%   |
| 計            | 161    | 100.0% |



○その他の主なもの

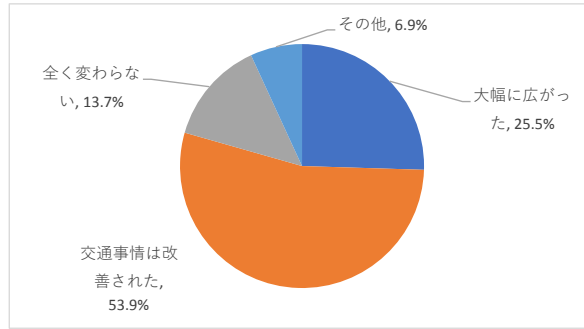
- ・島原地区は高齢化が顕著で、インターネットが不得手で窓口対応を好む傾向があると思うため、島原地区の最寄の場所にリモートのセッティングからする受付を設置していただきたい。
- ・公共事業等については、人員削減を行うとダイレクトに支障が出るのではないかな。など

※回答対象者107人

質問8. 50歳代以上の方にお尋ねします。

さまざまな道路が整備されてきていますが、あなたは昭和40年代に比べての生活圏の広がりについてどのように感じますか。

| 選択肢        | 回答数(人) | 構成比(%) |
|------------|--------|--------|
| 大幅に広がった    | 26     | 25.5%  |
| 交通事情は改善された | 55     | 53.9%  |
| 全く変わらない    | 14     | 13.7%  |
| 狭くなった      | 0      | 0.0%   |
| その他        | 7      | 6.9%   |
| 計          | 102    | 100.0% |
| 未回答        | 2      | —      |



○その他の主なもの

- ・車を運転する人にとっては生活圏は広がっていると思うが、運転しない人、高齢者は変わっていないと思う。
- ・交通事情は多少改善されたが、これからの人口減少を考えると投資が大きすぎる。
- ・島原鉄道廃止は影響が大きい。高齢者の移動手段の整備・構築に力を入れて欲しい。 など

※回答対象者104人